

多重債務相談の受付状況（平成29年度）

潜在的な相談者の掘り起こし等を目的として、多重債務相談窓口の周知や地方公共団体の生活困窮者自立支援相談窓口との連携に努めました。

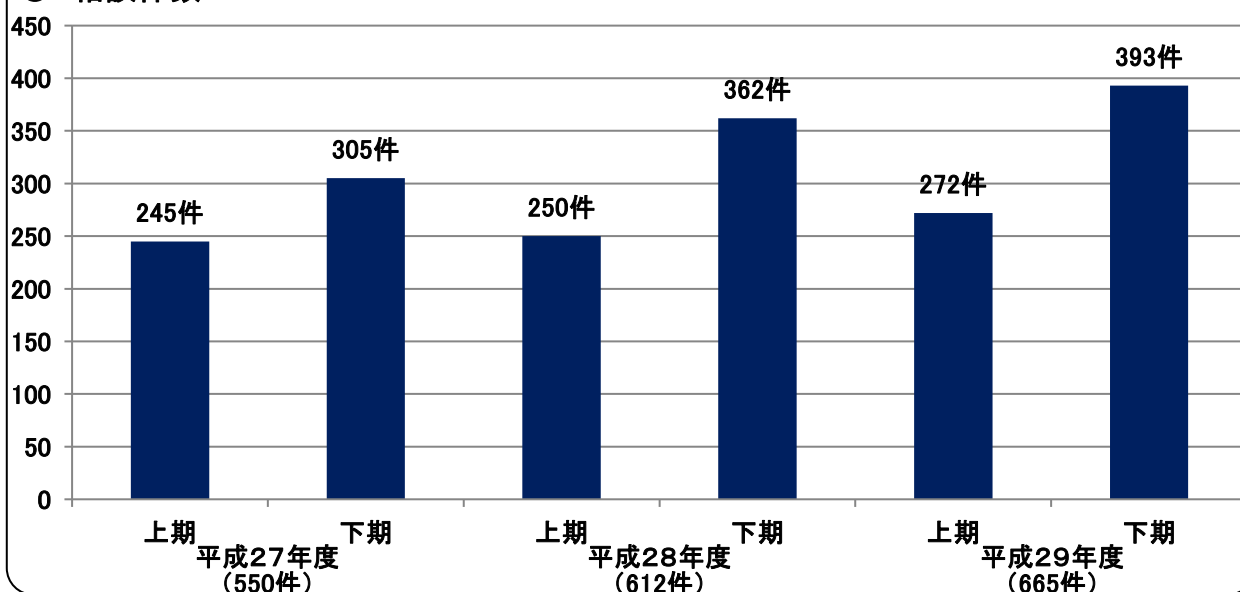
【概要】

- 平成29年度の相談件数は665件と、前年（612件）と比べて増加。
- 「相談のきっかけ」をみると、「多重債務相談窓口を案内するリーフレット」（205件）が最も多くなっています。また、地方公共団体の生活困窮者自立支援相談窓口との連携※に努めた結果、「地方公共団体からの紹介」（113件）がその次に多くなっています。

※ 生活困窮者自立支援相談窓口との連携

近畿財務局では、地方公共団体の生活困窮者自立支援相談窓口の担当者向け出前講座を開催（平成28年度：29回（58団体）平成29年度：16回（48団体））するなど、地域連携に取り組んでいます。

○ 相談件数



【近畿財務局の多重債務相談窓口】

借金の問題は、あなたの決意次第で解決します。

一人で悩まずに、是非、ご相談ください。相談は無料です。

◎ 受付時間 月曜日～金曜日（祝日を除く）9時～17時

◎ 電話番号 06-6949-6523、06-6949-6875

【相談事例】

事例1 娘のクレジットカードの利用代金の肩代わり（40歳代・女性）

○ 相談内容

同居している娘が複数のクレジットカードを利用して洋服や化粧品などを購入しているが、給与ではクレジットカードの利用代金の支払いができなくなった。親が肩代わりして支払った方がよいのか。

○ 相談への対応

娘のクレジットカードの利用代金の支払いに関し、保証人でない家族に支払い義務がないことを説明するとともに、信用情報機関※に延滞情報が登録されると、その情報の登録期間内はクレジットカードの利用が難しくなるが、家族が肩代わりして支払うと、返済能力がないにもかかわらず、娘がクレジットカードを引き続き容易に利用できることを説明した。また、クレジットカードの利用代金の支払いが困難なことから、4つの債務整理の方法のメリット・デメリット等を説明した上で弁護士会を案内した。

※ 会員（クレジット会社、貸金業者、銀行）からの照会に応じて、会員が登録した利用者の借入や返済などの情報を提供している機関。

事例2 自営業を行っていた際の借金の返済が困難（70歳代・男性）

○ 相談内容

自営業を行っていた際の借金が12百万円残っている。5年前に債権回収会社に毎月5千円を返済する約束をし、約束どおりに返済していたが、昨日、債権回収会社から一括返済するよう督促状が送られてきた。年金生活で財産もないことから、一括返済できず、弁護士費用を支払う余裕もないが、どうすればよいのか。

○ 相談への対応

借金の返済が困難なことから、4つの債務整理の方法のメリット・デメリット等を説明するとともに、弁護士費用を支払う余裕がないことから、民事法律扶助業務※を説明した上で法テラスを案内した。

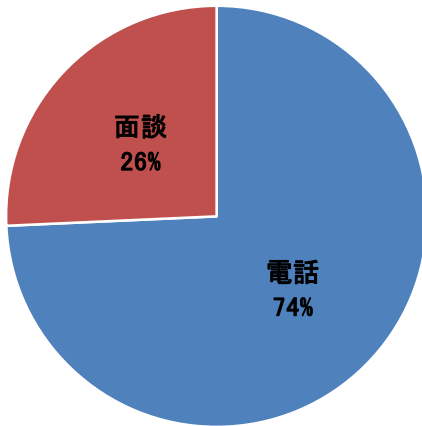
※ 経済的に余裕がない方が法的トラブルにあった際に、無料で法律相談を行い、弁護士・司法書士費用の立替えを行う法テラスの業務。

【当局の多重債務相談の流れ】

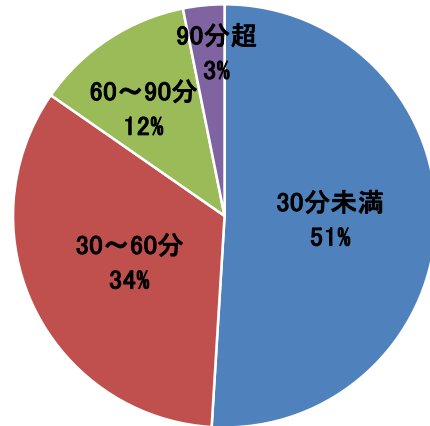
- 収入、借金の状況等を丁寧にお聞きし、4つの債務整理の方法（任意整理、特定調停、個人版民事再生、自己破産）のメリット・デメリット等を分かりやすく説明します。
- 法的解決を図る必要がある方には、弁護士会や法テラスを紹介し、生活に困りごとや不安を抱えている方には、地方公共団体の生活困窮者自立支援相談窓口を紹介するなどしています。

1. 相談方法・時間等

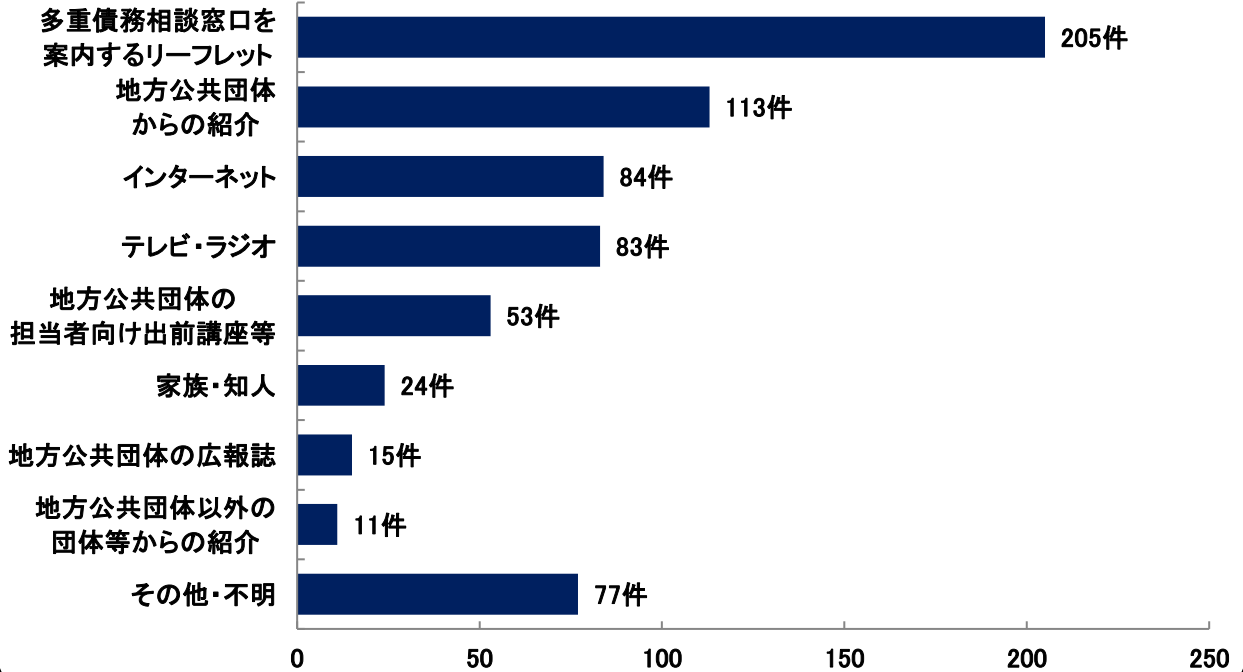
(1) 相談方法



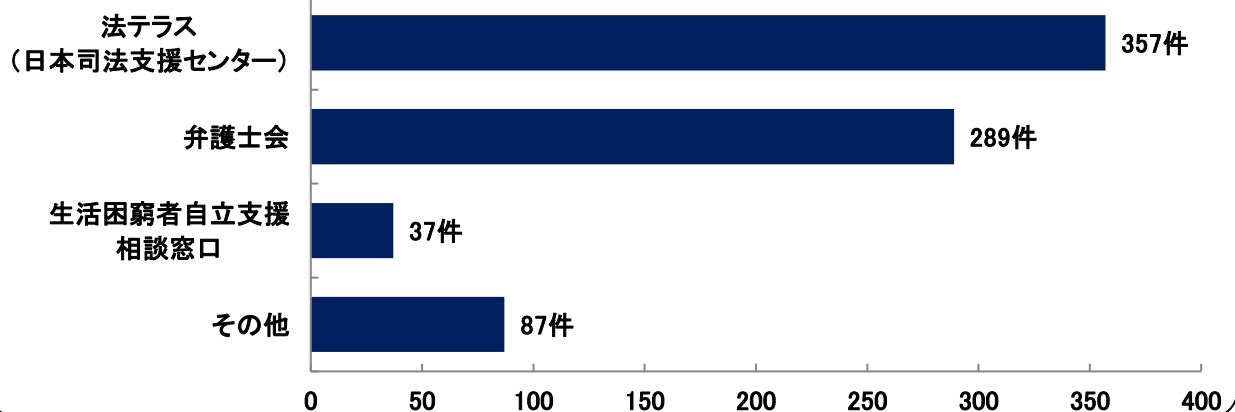
(2) 相談時間



(3) 相談のきっかけ

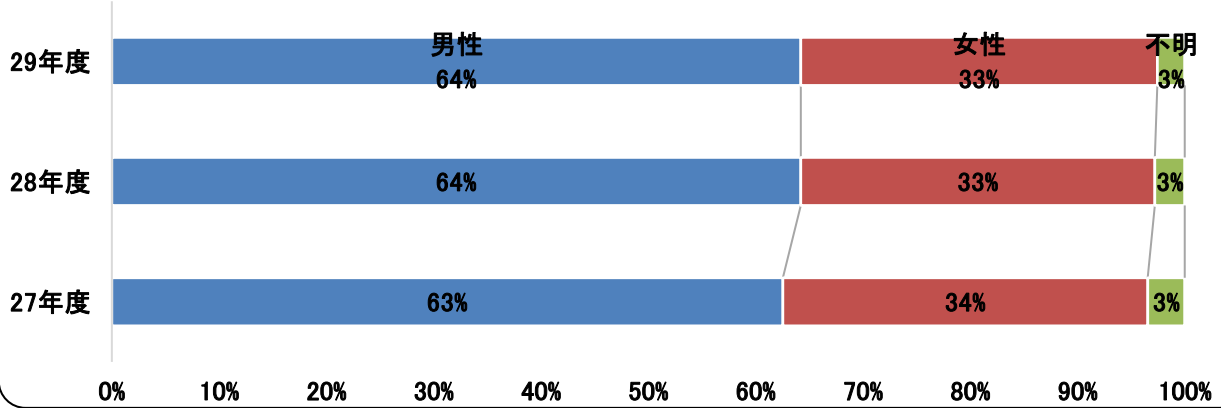


2. 弁護士会等への紹介件数(複数紹介あり)

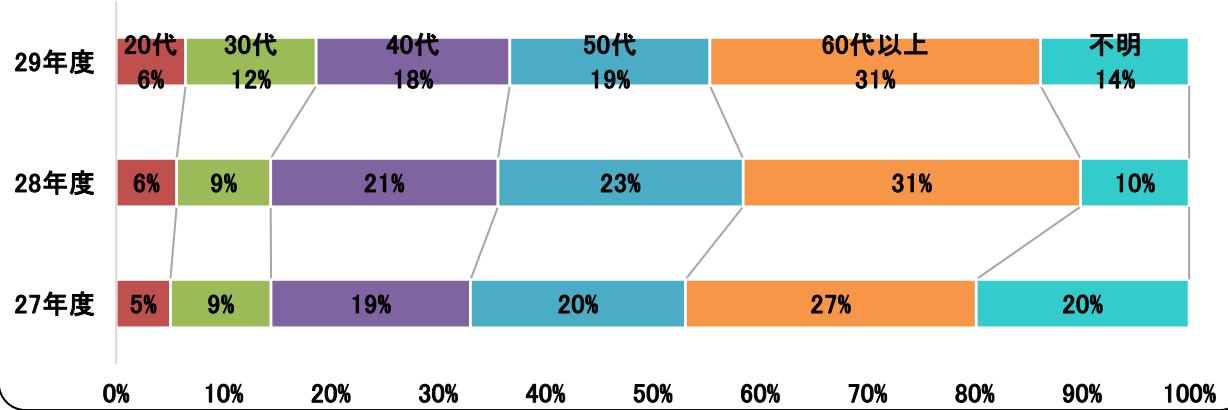


3. 相談者の性別・年齢等

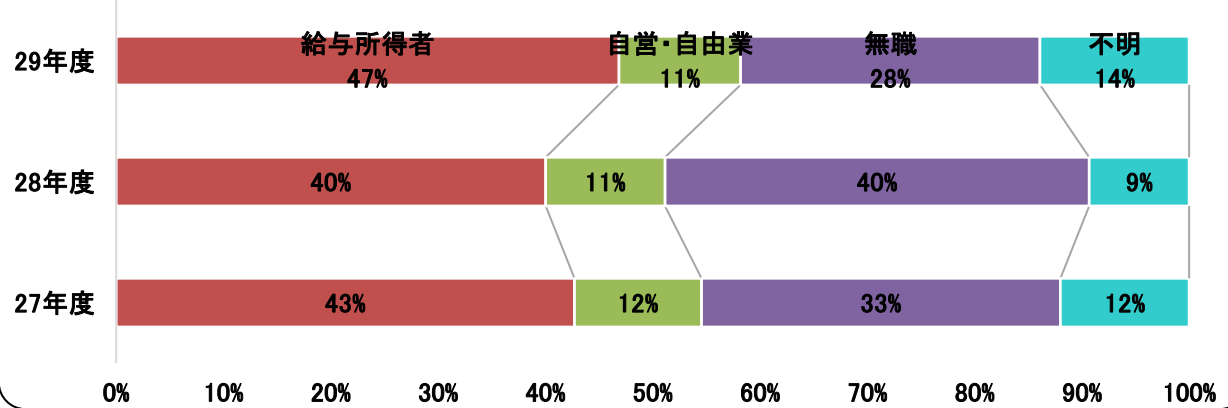
(1) 性別



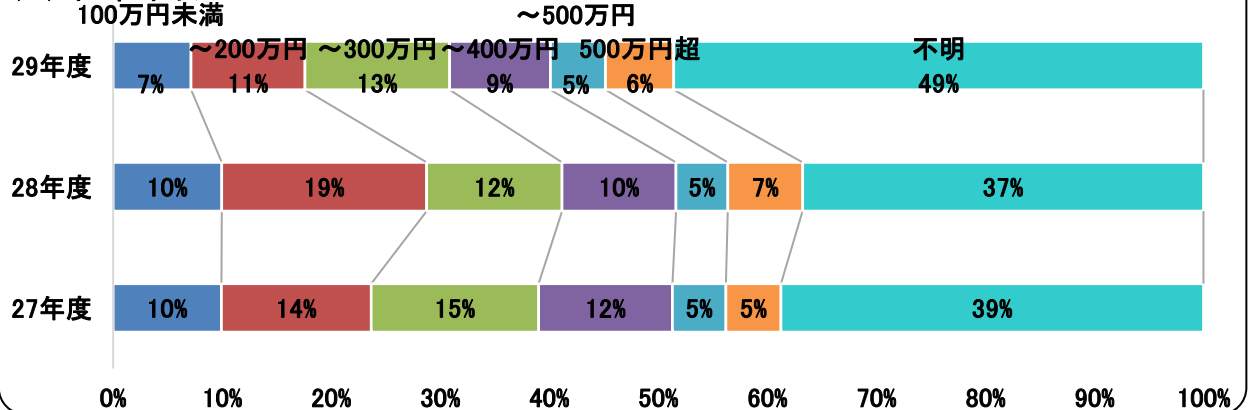
(2) 年齢



(3) 職業

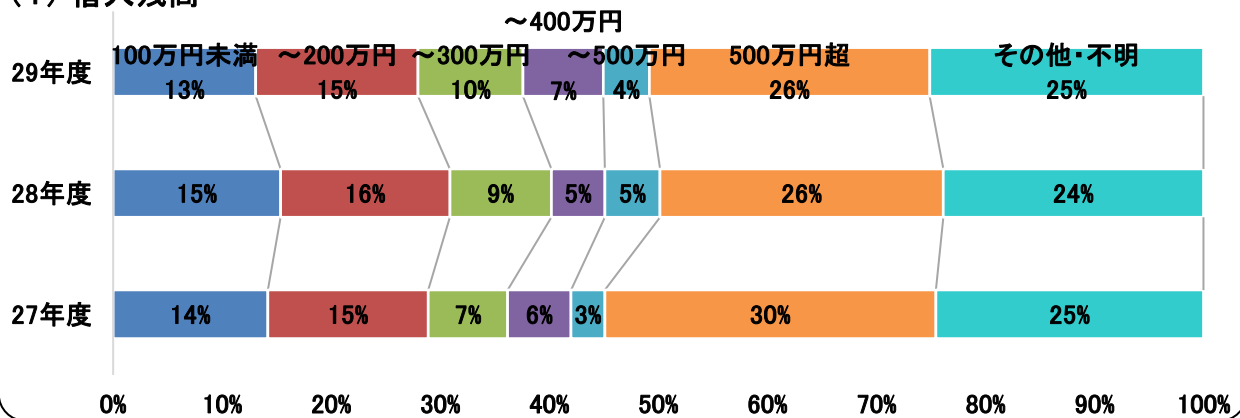


(4) 世帯年収

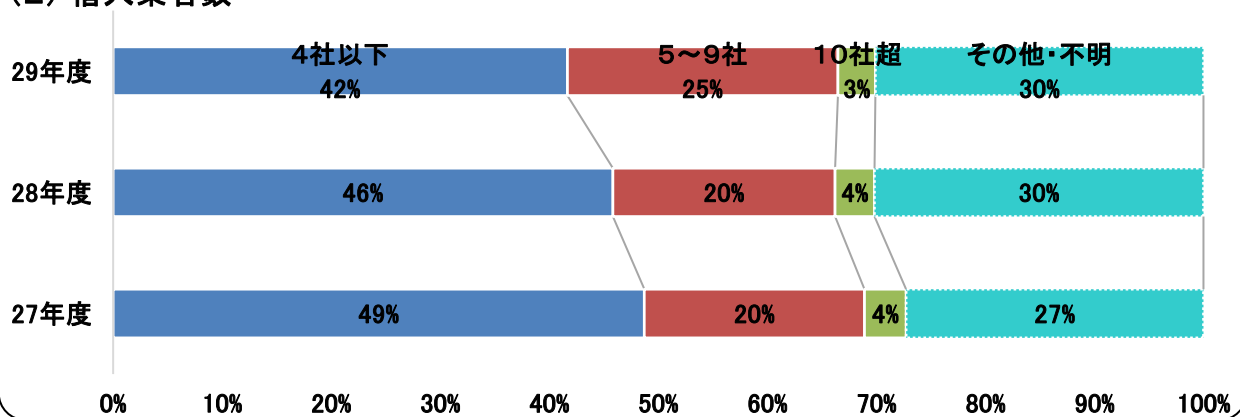


4. 相談者の借入状況

(1) 借入残高



(2) 借入業者数



(3) 借入のきっかけ(複数回答あり)

